

事業者コメント

施設名 救護施設ナザレ園
施設長名 佐々木 和也

《第三者評価を受審した感想》

当事業所として初めて第三者評価受審した。当初の目的としては、①「第三者に当事業所の業務・支援内容を評価してもらい、今後の業務改善につなげる事」、②「法人の理念に沿った業務を行うことを職員に意識付けすること」、③「利用者の、職員には伝わってこない本音を把握すること」を考えていました。

①については、準備段階において書類の整理や職員ミーティングをすることにより、評価項目に耐えられない部分に気づくことができ、当事業所の足りないところ・改善すべきところがあぶりだされました。

②については、今回の受審を通してはあまり期待した効果はなかったですが、今後も受審を続けたり、支援方針や業務内容を基本理念に沿ったものにする工夫をするなど取り組んでいきたいと思います。

③については、なかなか職員に伝わってこない利用者の本音が少し垣間見られ、施設運営の参考にしながら支援内容を変えていきたいと思いました。

その他、自事業所職員では気づかない、法人・事業所の良い点を教えていただき、事業所としても、職員としてもモチベーションの向上につながったのではないかと思います。

今後も、社会福祉法人として、地域における福祉の拠点・セーフティネットとしての役割や国民からの期待に微力ながらも応えていかなければならないという思いを一層強く持ちました。

《評価後取り組んだ事として》

1. 法人基本理念の掲示がされていないご指摘を受け、早速玄関に掲示し、入所者の方や来訪者の方、職員が意識できるようにしました。
2. 業務改善委員会を立ち上げ、マニュアルの見直しや再整備、利用者本位の個別支援をするための業務改善や効率化に取り組んでいます。
3. ルール見直し委員会を継続し、さらに管理・制限のない支援の形を探ろうと考えています。